

平成 27 年度 2020 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会
第 1 回総会 会議録（要旨）

- 日 時： 平成 28 年 4 月 8 日（金）午前 10 時 00 分～
- 会 場： 燕市役所 3 階 301 会議室
- 出席委員： 鈴木力委員（会長）、柴山義榮委員（副会長）、南波瑞夫委員（副会長）、仲野孝委員、山岡重雄委員、池田富二委員、山崎悦次委員、山本秀人委員（代理出席）、田野隆夫委員、立川厚太郎委員（代理出席）、美内信孝委員、田中公一委員、近藤安男委員、田辺秀男委員、小林恵美子委員、堀孝一委員、山田公一委員
- 欠席委員： 広井忠男委員
- 事務局： 宮路社会教育課長、川本参事、宇佐美課長補佐、藤田副参事、廣田副参事
- 報道機関： 新潟日報、三条新聞、県央ドットコム、越後ジャーナル
- 傍聴者： なし
- 報 告：（1）オリ・パラ ホストタウン構想の登録決定について [資料 2]
- 議 題：（1）監事の選任について [資料 3]
- （2）ホストタウン燕市推進基本方針（案）について [資料 4]
- （3）燕市推進委員会平成 28 年度事業計画（案）について [資料 5]
- （4）燕市推進委員会平成 28 年度収支予算（案）について [資料 6]

[以下、会議録(要旨)]

報 告

- （1）オリ・パラ ホストタウン構想の登録決定について [資料 2]

《事務局説明》

○委員

新潟市、長岡市等の市との連携が記載されているが、常にこの会議は連携をとってやるのか。

○会長

他自治体との連携という意味では県が音頭をとる。燕市は先行して取組んでいることもあり、より具体的な内容を地元でやらせていただいているということ。今後も県が全体の会議を開催するはずなので、そこで全体との擦り合わせを行う。

○委員

相手国がモンゴルと書いてあるが、モンゴルだけになるのか。

○会長

新潟県として全体の相手国をモンゴルとしたいということが基本的にあり、そこへ参加したいという自治体が新潟市、長岡市、燕市等となっている。

燕市はパラリンピックではモンゴルが相手国となっているが、オリンピックでは今後も誘致活動を行っていくので、その内容によっては燕市独自の活動として県と離れた動きになる可能性も含んでいる。

議 題

(1) 監事の選任について [資料 3]

《会長説明》

(質疑なし)

(2) ホストタウン燕市推進基本方針(案)について [資料 4]

《事務局説明》

○委員

モンゴル語は専門知識がないと難しいと思うが、4年間モンゴルの大学へ行って卒業し、現在燕市在住の方が知人であるので、後ほど紹介させていただきたいが、どこへ連れて行けばよいか。

○事務局

窓口はスポーツ推進室となるが、こちらから会いに伺いたいと思うので連絡先を教えてください。

(3) 燕市推進委員会平成 28 年度事業計画(案)について [資料 5]

《事務局説明》

(質疑なし)

(4) 燕市推進委員会平成 28 年度収支予算(案)について [資料 6]

《事務局説明》

(質疑なし)

その他

《モンゴル国パラアーチェリー協会との調印式・歓迎レセプションの開催について》

○会長

これは翌日の 4 月 20 日に県も調印式をするということか。

○事務局

4 月 19 日に燕市が調印式を行い、翌日に新潟県が全体の調印式を行うこととなっている。

○委員

調印式は時間が午前 11 時からになっているが、午前中に終わるのか。

○事務局

30 分程度を予定しているので、午前中で終了する予定となっている。

閉会